キャリア形成学科カリキュラムマップ

キャリア形成学科ディプロマポリシー	1. 知識・理解	①女性の多様な生き方・働き方と就労に関する諸問題を理解している。 ②社会、文化、人間に関する幅広い知識に基づき、多様性の価値を理解することができる。 ③企業や公共組織の経営資源と、それらのマネジメントに関する基礎的な知識と技法を理解している。
	2. 汎用的能力	④情報リテラシーを身につけ、日本語及び外国語を用いて的確に読み書きし、他者の話を聞き、自らの考えを他者に効果的に伝えることができる。 ⑤現代社会の諸問題について論理的に考え、解決方法を見出すことができる。 ⑥プロジェクト・マネジメントの技法を活用できる。
	3. 態度・志向性	⑦建学の精神「真実心」を理解し、他者と共生しながら自立することができる。 ⑧自己のキャリア形成の実現のため、生涯にわたって学び続ける力を身につけている。 ⑨セルフマネジメント力（自己管理力）及びチームマネジメント力（チームで協働する力）を身につけている。
	4. 統合的な学習経験と創造的思考力	⑩ビジネスや地域の課題を解決するための実践力及び新たな価値を生み出す創造的思考力を身につけている。

学科目	科目の主題	科目の到達目標	配分 学習量（授業内外の学修活動の総和）全体を100としたときの配分	ディプロマポリシーの項目番号 凡例 ◎：DP達成のため設定された項目と強い関連性がある ○：DP達成のため設定された項目と相当程度の関連性がある 1つの達成目標に対して合わせて最大2個まで									
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
女性の生き方・働き方	女性を取り巻く社会環境と多様なキャリアを知る	1. 他者の生き方を好意的に受け入れる力を身につける	60		◎								
		2. 女性を取り巻く社会環境を理解する	20	◎									
		3. キャリアビジョンをまとめる	20								◎		
女性と現代社会	女性を取り巻く社会の現状を理解し、キャリア形成に必要なスキルを身につける	1. 女性の現状をデータに基づき理解する	30	◎									
		2. 女性を取り巻く法律を理解する	50					◎					
		3. 男女共同参画の理念を理解し活用することができる	20								◎		
女性とビジネス	職業理解と社会で必要な能力理解	1. 女性が活躍できるビジネス分野を理解する	20	◎							○		
		2. ライフスタイルとビジネスとの関わりを理解し自分の適性を考える	40			○					◎		
		3. 働くうえで必要な力を理解し、経験に基づくアピール文にまとめることができる	40		○		◎						
女性と経済	パーソナル・ファイナンス入門	1. 収支管理の必要性を理解し、かつ、ライフプランの実現のために不可欠な資金計画の基本を理解している。	40	◎								○	
		2. 基礎的な金融知識を持ち、金融商品を適切に利用選択できる	20		○	○							
		3. Excelを用いて、「家計のバランスシート」、「家計のキャッシュフロー表」を作成できる。また、金利計算ができる。	40	○			◎						
女性のキャリア形成	自己表現と自己理解	1. 決められた条件で自己紹介をまとめ、周囲に的確に伝えることができる	30	○			◎						
		2. 自分の長所・短所を理解し、モチベーションを維持する	30	○							◎		
		3. 目標達成に向けた具体的な行動計画をたてて実行する	40					○			◎		
キャリアサポート	就職活動に必要な知識を身につける	1. 就職試験（筆記試験）に対応できる知識を身につける	60				○	○					
		2. 就職活動の進め方を理解する	20	◎									
		3. 自分の将来設計にあわせた職業を選択できる	20	◎									
女性のアントレプレナーシップ	女性ならではのアイデアを活かした起業について学ぶ	1. 女性ならではのアイデアを活かした起業事例を理解する	30	○		◎							
		2. ベンチャー企業の動向を理解する	30			◎		○					
		3. 実践的な学びを通して、自らの可能性を見出す	40										◎
日本語コミュニケーション応用Ⅰ	読解力と文章力を身につける	1. 幅広いジャンルの文章を適切に読み取ることができる	30				◎						○
		2. 論旨の把握、問題点の検討、異論・反論の設定などできる	30				◎						○
		3. 自分の意見を適切に組み立てて文章にまとめることができる	40				◎						○
日本語コミュニケーション応用Ⅱ	日本語と関連知識の理解を深め、応用力を養う	1. 幅広いジャンルの文章を材料として、論理的に理解する態度と豊かな語彙力を習得し、それを適切に活用することができる	30				◎						○
		2. 自ら設定したテーマに即して、情報の収集と整理、討論による問題点の検討、適切な媒体を用いた成果の公表を行うことができる	40				◎						○
		3. 日本語力の伸長度を測定する適切な検定等を利用して、自ら日本語リテラシー向上を図るなど、自覚的かつ積極的な態度を備えている	30				◎						○
ロジカルシンキング	文章の論理的理解とともに、感性的な受容力、表現力、さらに言語の周辺の人間文化の理解をも視野に入れた、総合力を養成する	1. 精密な読解力を身に付け、正確な論旨の把握を行い、その内容について、自らの意見を明確かつ適切に表現することができる	20				◎	○					
		2. 多様なジャンルの日本語表現に触れ、それらの持つ特性を的確に理解した上で、内容を理解し自らの言葉で説明することができる	30				◎	○					
		3. アカデミックライティングの手法を習得し、自ら設定したテーマに即して、質の高い小論文を作成することができる	50				◎	○					
情報社会の理解	社会の情報化が及ぼす影響と課題、現代の情報社会を生きていく上で必要となる情報倫理や情報セキュリティの重要性について理解する	1. 情報基礎リテラシーについてその必要性及び概要を理解できる	30				◎						
		2. 情報倫理・情報セキュリティについてその必要性及び概要を理解できる	50		○		◎						
		3. 情報社会で発生し得る様々な問題に対して、実際の状況に即して的確な判断・決定をおこなうことができる	20				◎	○					
情報技術の理解	コンピュータ（情報処理）およびコンピュータネットワーク（情報通信）全般の基礎知識を身につける	1. 情報処理技術（コンピュータ）全般に関して、主にハードウェア、ソフトウェアの概念や動作の仕組みの基本について理解できる	40				◎						
		2. 情報通信技術（ネットワーク）全般に関して、主にコンピュータネットワーク、インターネットの概念や動作の仕組みの基本について理解できる	40				◎						
		3. 今後の学習に必要となる情報通信技術の基礎知識を幅広く理解し活用できる	20				◎						
数と社会	社会で必要になる基礎的な計算能力 と数的思考能力を身につける。	1. 基礎的な計算問題が解ける	30		○		◎						
		2. 基礎的な統計を理解できる	30		○		◎						
		3. 計算・統計の結果に基づいて社会の問題を思考できる	40		○		◎						
コンピュータ活用A	印刷を目的とした画像処理の基礎知識と技術修得	1. コンピュータグラフィックの基礎知識を習得する	30		○	◎							
		2. 用途に応じた画像形式を理解する	20		○	◎							
		3. 画像と文字や図形を合成しポストカードやポスターを制作する	50				◎	○					

学科目	科目の主題	科目の到達目標	配分 学習量（授業内外の学修活動の総和）全体を100としたときの配分	ディプロマポリシーの項目番号 凡例 ◎：DP達成のため設定された項目と強い関連性がある ○：DP達成のため設定された項目と相当程度の関連性がある 1つの達成目標に対して合わせて最大2個まで									
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
コンピュータ活用B	インターネット公開を目的とした画像処理の基礎知識と技術修得	1．情報発信に必要な知識と技術を理解する	30		○	◎							
		2．画像と文字や図形を合成しWeb用素材を制作する	40				◎	○					
		3．アニメーションを企画し制作する	30				◎	○					
コンピュータ活用C	統計を理解し、使いこなすために必要な「統計リテラシー」の習得	1．記述統計に関する基礎知識を身につけ、適切にデータを扱うことができる	60				◎	○					
		2．Excelを用いて、データを数値やグラフで適切に要約できる	30				◎	○					
		3．インターネットから公的統計データを入手し、適切に活用することができる	10				◎	○					
TOEIC Ⅰ	TOEICの試験問題、特に聴解問題に慣れる	1．TOEICの初級レベルの試験問題の特徴を理解する	40				◎						
		2．TOEICの初級レベルの試験問題に正解を出せるようになる	40				◎						
		3．TOEICに頻繁に使われている単語600語を覚える	20				◎						
TOEIC Ⅱ	TOEICの読解試験問題に慣れる	1．TOEICの初級レベルの読解試験問題の特徴（スタイルと頻繁に使われている文法）を理解する	30				◎						
		2．TOEICで使われる読解文をある程度理解できる	30				◎						
		3．TOEICに頻繁に使われている単語1000語を覚える	40				◎						
実践英語ⅠA	英語によるコミュニケーション力の基礎を習得する。	1．英語コミュニケーション力の基礎を固める	30				◎						
		2．英語による自文化の発信ができる	40				◎						
		3．異文化を英語を通してある程度理解できる	30				◎			○			
実践英語ⅠB	英語コミュニケーション力の基礎を固める。	1．日常的な英語でコミュニケーションできるようになる	50				◎						
		2．京都の観光名所を見学し、必要とする英語を把握する	40		○		◎						
		3． 集中的に英語を使い、英語合宿を運営するための英語を把握する	10				◎		○				
実践英語ⅡA	英語コミュニケーション力を発展させる。	1．観光英語に慣れて外国人を観光地に案内できるようにする	50				◎						
		2．英語で観光企画を立てて、交渉・ディスカッションするようになる	30				○		◎				
		3．観光地などに見られる日本文化を外国人に説明できる	20		○		◎						
実践英語ⅡB	英語コミュニケーション力を発展させる。	1．英語合宿で集中的に英語を使い、実際に外国人を観光地に案内し、詳しい説明ができるようにする	40				◎						
		2．観光業に従事する人の英語がある程度理解できるようになる	20	○			◎						
		3．観光地などに見られる日本文化を外国人に詳しく説明できる	40		○		◎						
実践ビジネス英語	ビジネス・産業・企業など英語の用語を理解させる	1．ビジネス・産業・企業などに関して基礎的な語彙を理解する	50				◎						
		2．ビジネス・産業・企業などに関してデータを理解する	20				◎						
		3．ビジネス・産業・企業などレポート・ニュースなど理解する	30				◎						
実践ビジネス英会話	ビジネス・産業・企業などに関する英語コミュニケーション力を発展する	1．ビジネス・産業・企業などに関して基礎的な語彙を覚える・使える	30				◎						
		2．ビジネス・産業・企業などテーマに関する英語コミュニケーション力を固める	20				◎						
		3．ビジネス・産業・企業などテーマに関する英語でディスカッションできる	50				◎						
セメスター留学	英語コミュニケーション力を発展させる。異文化理解を深め、視野を広げる。	1．海外での生活を慣れ、日常会話をできるようになる	60				◎					○	
		2．アカデミック英語能力を身につけ、英語で調査研究し、結果をまとめる	20				◎						
		3．異文化を理解し、問題発見できるようになる	20		◎							○	
長期（1年）留学	英語コミュニケーション力を発展させる。異文化理解を深め、視野を広げる。	1．海外での生活を慣れ、日常会話をできるようになる	60				◎					○	
		2．アカデミック英語能力を身につけ、英語で調査研究し、上級レベルの英語で研究レポートを書けるようになる	20				◎						
		3．異文化を理解し、問題発見し、英語で研究できるようになる	20		◎							○	
実践中国語Ⅰ	中国語を話す	1．中国語の正しい発音を習得する	30		◎								
		2．中国語で自己紹介ができる	40		◎		◎						
		3．中国の文化への理解を深める	30		◎			○					
実践中国語Ⅱ	中国語を話す	1．中国語の基本的な語法を習得する	30		◎								
		2．中国語で簡単な会話ができる	40		◎		◎						
		3．中国の社会への理解を深める	30		◎			○					
プロジェクト入門Ⅰ	「プロジェクト」について理解し、その実践のための「プロジェクトマネジメント」の基礎知識を習得する	1．プロジェクトとは何かを理解する。	10						○				
		2．プロジェクトマネジメントの基礎知識を習得する。	40						◎			◎	
		3．プロジェクトマネジメントの基礎知識を活用して、プロジェクトを立ち上げ・計画する。	30						◎			◎	
		4．チーム活動を円滑におこなうための基礎知識を修得し、活用する。	20						◎			◎	
プロジェクト入門Ⅱ	プロジェクトマネジメントの基礎知識を体得しながら、チーム活動によってプロジェクトを実践し、その結果を考察する	1．プロジェクトマネジメントの基礎知識を活用して、プロジェクトの実行期をマネジメントし、必要な準備活動をおこなう。	30						◎			◎	
		2．プロジェクトの重要な成果物を創出する。	40						◎			◎	
		3．プロジェクトの実践結果を考察し、改善提案と教訓を導きだす。	30						◎			◎	
プロジェクト実践	プロジェクトマネジメントの基礎知識を活用し、企業や社会などの課題を解決するプロジェクトを実践する	1．プロジェクトマネジメントの知識・スキルを活用し、企業や社会の課題を解決するためのプロジェクトを実践する	40						○			◎	
		2．各自の役割を理解し、チームで実行することができる	30							○		◎	
		3．プロジェクト実施後に分析・評価するための情報を収集することができる	30				◎					○	
プロジェクト評価	プロジェクトの実践結果を分析評価し、教訓と改善提案を導き出す	1．プロジェクトの実践結果を分析・評価し、深く考察することができる	40					◎	○				
		2．プロジェクトの考察結果を元に教訓を導き出すことができる	30					◎	○				
		3．プロジェクトの考察結果を元に改善計画を立案することができる	30					○	◎				

学科目	科目の主題	科目の到達目標	配分 学習量（授業内外の学修活動の総和）全体を100としたときの配分	ディプロマポリシーの項目番号 凡例 ◎：DP達成のため設定された項目と強い関連性がある ○：DP達成のため設定された項目と相当程度の関連性がある 1つの達成目標に対して合わせて最大2個まで									
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
専門実習（長期インターンシップ）	企業・自治体・NPOなどでの現場実習を通じて専門知識を実践、統合する	1．講義やプロジェクトなどで得た知識やスキルを「現場」で活用する	40									○	◎
		2．「現場」で求められる能力を理解する	30									○	◎
		3．実習を通じて、組織活動における自らの強みと課題を把握する	30								◎		○
基礎ゼミⅠ	人間関係の形成、大学での授業理解の促進、学びや体験の記録	1．クラスメートや担当教員などとの人間関係の形成する	50							◎			
		2．大学で学習するにあたって欠くことができない技術を身につける	20				◎						
		3．授業内外の学びや体験を記録する	30								◎	○	
基礎ゼミⅡ	授業で修得した技術や知識の活用法を身につける、学びや体験による成長の記録と振り返り	1．グループワークを通して、問題発見解決能力の基礎力向上させる	30									◎	
		2．問題発見解決能力の基礎力向上のために、研究レポートを作成する	30				◎						
		3．キャリア形成学科の専門領域の広がりを理解する	40								◎		
発展ゼミⅠ	情報の収集・整理・要約とコミュニケーション力の養成	1．文献を読み、理解してまとめ、内容を他者に伝えることができる	50		○		◎						
		2．論理的な思考できる	30		○			◎					
		3．大学生活を主体的積極的に過ごせる	20		○						◎		
発展ゼミⅡ	情報の収集・整理・要約とコミュニケーション力の養成	1．自ら課題を発見し、情報収集、分析、討論ができる	50				◎	○					
		2．幅広い視野をもち思考できる	30		○			◎					
		3．卒業後の自分の未来を見据えて大学生活を過ごせる	20		○						◎		
応用ゼミⅠ	専門分野のテーマに関して、論理的に考え、問題発見して解決する方法を身につける	1．専門分野のテーマについて、問題を発見できる	40				◎						
		2．取り組む問題に関する専門知識を身につける	30				◎	○					
		3．取り組む問題に関する解決方法を身につける	30				◎	○					
応用ゼミⅡ	専門分野のテーマに関して、問題発見・解決した成果をまとめて発表できる	1．取組んだ専門分野の問題発見・解決の成果を報告書にまとめられる	30				◎						
		2．成果を分かりやすく発表できる	30				◎						
		3．取り上げたテーマについて、さらに取り組むべき内容と方法を説明できる	40				◎						
応用ゼミⅢ	卒業研究の制作準備を通して、問題発見・解決力を高める	1．取組の焦点が絞られた卒業研究のテーマを設定できる	40					○					◎
		2．卒業研究を進める目的・方法を明確化して、研究計画書が作成できる	30				○						◎
		3．先行研究を詳しく調べて要点を明確化して、卒業研究の推進に結び付けられる	30					○					◎
応用ゼミⅣ	卒業研究の制作を通して、問題発見・解決力を高める	1．卒業研究に関する創造的な成果物を蓄積できる	30				○						◎
		2．先行研究を引用しながら、自分の取組成果を論理的に文章作成できる	30				○						◎
		3．.卒業研究の問題に対する創造的な解決方法を提起できる	40					○					◎
卒業研究	卒業研究の成果物を制作し、発表会で分かりやすく報告する	1．卒業研究の成果物を創造的に制作して提出できる	30				○						◎
		2．論理的な日本語表現で卒業研究を執筆できる	40				○						◎
		3．卒業研究の発表会で分かりやすく発表し、適切に質疑応答できる	30				○						◎
ビジネス・マネジメント原論	民間企業（営利企業）における一般的なビジネス活動全般に関する幅広い知識を修得する	1．ビジネス・マネジメントがカバーする範囲の全体像とサービス・マネジメント、ソーシャル・マネジメントとの関係を把握できる	20			◎							
		2．企業のビジネス活動を経営資源（ヒト・モノ・カネ・情報）の利用・活用の視点で捉えることができる	40			◎							○
		3．主に製造業・流通業における基幹業務（人事・販売・財務・生産・物流）の全体像を掴むことができる	40			◎							○
サービス・マネジメント原論	サービスの特性や顧客満足について知り、各種サービス組織で働く人々が、やり甲斐や成長を感じ、効率性を高めるマネジメントの仕組みについて学ぶ。	1．サービスの特性について理解できる。	30			◎							
		2．顧客満足や顧客ロイアリティについて理解できる	30			◎							
		3．各種業界の実践事例からサービス組織のマネジメントを理解できる。	40			◎							
ソーシャル・マネジメント原論	利潤より社会（ソーシャル）の問題解決を優先する諸活動の基礎的概念と実践事例を理解する	1．ソーシャル・マネジメントが注目される社会的背景を知る	40			◎		○					
		2．ソーシャル・マネジメントの実践事例を知る	40			○		◎					
		3．ソーシャル・マネジメントの課題を知る	20			◎		○					
経営学	経営・マネジメントの基本と応用についての理解を深める	1．経営学の全体像について理解できる	20		○	◎							
		2．企業と市場との関わりという概念と具体的な事例について理解できる	40		○	◎							
		3．経営戦略やマネジメントという概念と具体的な事例について理解できる	40			◎	○						
会計学	簿記の体系的な仕組みやその基本となる記帳や計算表作成の実務に関する知識を組み合わせた財務諸表を通じて、経済活動に実際に役立てられる能力と態度を養う	1．貸借対照表・損益計算書といった財務諸表の作成とそれらの分析について理解できる	40			◎							
		2．グローバル化への対応、キャッシュフロー、監査等財務会計の応用について理解できる	40			◎							
		3．経営目的達成のための活動計画の設定と経営意思決定に関わる管理会計の概要について理解できる	20			◎							
経済学	基礎・教養科目「経済学」で学んだ学問としての経済理論をベースに、より発展的・応用的な内容について学ぶ	1．ミクロ経済（市場と経済）・マクロ経済（経済成長と経済政策）の諸理論を正確に理解することができる	40			◎							
		2．急速に進む産業構造の変化や経済の国際化等について、その実態を正確に理解することができる	30			◎							
		3．現実社会の出来事を経済学的な視点で捉えるセンスを身につけることができる	30			◎		○					
マーケティング	マーケティングの基礎・応用の理解を深め、実践場面での活用法を考察する	1．マーケティングの基本用語および基本的な理論を理解できる	40			◎							
		2．マーケティング理論・技法を通して消費者行動を考察できる	30			◎							
		3．マーケティング理論・技法を通して企業の経営戦略を考察できる	30			◎							
経営情報	経営上の問題解決とそれらを実現するためのテクノロジーを考察し、理解を深める	1．ビジネスとICT（情報通信技術）の関わりについて理解できる	40			◎	○						
		2．経営情報システムを実現する具体的なICTの要素技術について理解できる	40			◎	○						
		3．ビジネス・プロセスに注目した業務改革の具体的な事例を理解できる	20			◎		○					

学科目	科目の主題	科目の到達目標	配分 学習量（授業内外の学修活動の総和）全体を100としたときの配分	ディプロマポリシーの項目番号 凡例 ◎：DP達成のため設定された項目と強い関連性がある ○：DP達成のため設定された項目と相当程度の関連性がある 1つの達成目標に対して合わせて最大2個まで									
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
eビジネス	ICTを活用した新しいビジネスの現状と将来について考察し、理解を深める	1. eビジネスを実現する具体的なICTの要素技術について理解できる	40			◎	○						
		2. 実社会におけるビジネスの現状を概観し、特にICT活用の概要について理解できる	40			◎	○						
		3. 新たなビジネスの可能性について考えるための基本的な視点・感覚を身につけることができる	20			◎							○
消費者心理学	消費者行動の理論とそのマーケティングへの応用について学ぶ	1. 消費者行動と 購買意思決定過程モデルについて理解する	40		○	◎							
		2. 消費者の満足・不満足について、購買意思決定過程モデルから検討することができる	30		○	◎							
		3. 社会的文化的状況下において集団と個人から影響をうける消費者行動について理解する	30		○	◎							
産業・組織心理学	組織とはいったいどのようなもので、組織の中で人々はどのように行動するのか、また、組織や産業に関わる人間の心理や行動についての基礎を学ぶ	1. 心理学における組織研究の歴史について理解する	20		○	◎							
		2. 職場におけるモチベーションとメンタルヘルスに関する基礎理論ついて理解する	40		○	◎							
		3. 職場におけるリーダーシップと人間関係について関する理論を理解する	40		○	◎							
ロジスティクス	企業におけるロジスティクスの実態を踏まえ、具体的な企業の取り組みなどを通じて、現代のロジスティクスの全体像を幅広く把握出来るための知識を体系的に学ぶ	1. 企業活動を展開する上で、ロジスティクスが必要不可欠なものであることを理解できる	20			◎							
		2. 企業の経営戦略の一環として、戦略的なロジスティクスを実践する企業の取り組み（目的・効果等）について理解できる	50			◎							
		3. 宅配便ビジネス、国際物流サービス、フェアトレード等の具体的な事例について理解できる	30			◎							
経営法務	経営・ビジネスに関わる法規・法律について、経済活動やビジネスの視点からのケーススタディ等を通じて幅広く正確な知識を身につける	1. 経営・ビジネスに関連する法律の体系および概要について理解できる	30			◎							
		2. 法律的に物事を捉え、考える態度を身につけることができる	30			◎							
		3. コンプライアンス・法令遵守という考え方を体感的に理解できる	40			◎	○						
組織とヒューマンリソース	「人的資源」を活かす組織のあり方や新しい組織形態等について理解する	1. 組織論の考え方を、組織を構成する「人間」という視点を中心に理解できる	30		○	◎							
		2. 企業で実際におこなわれる人的資源管理、人事制度、雇用管理、人事評価などのシステムについて理解できる	30		○	◎							
		3. リーダーシップ、モチベーション、メンタルヘルスなど人間にまつわる諸問題について理解できる	40		○	◎							
ホスピタリティ	サービス産業にとって不可欠であるホスピタリティある対応力を高めるための具体的手法や実践力を学ぶ。	1. ホスピタリティ・マインドについて理解できる	30		○	◎							
		2. 女性らしい感性と心遣いによる顧客対応について理解できる	30		○	◎							
		3. 質の高いおもてなしについて具体的に理解できる	40		○	◎							
観光ビジネス	観光に関わるビジネスについて基礎的な理解を深め、観光マネジメントについて各種観光事業ごとに学ぶ。	1. 観光ビジネスについての基礎知識を理解できる	30		○	◎							
		2. 各種観光事業におけるマネジメントを理解できる	30			◎							
		3.「国内旅行取扱管理者」の資格試験の知識を身につけている	40		○	◎							
観光リソース	国内および海外の各種観光資源についての基礎知識を理解し、、観光ビジネスの特性を学ぶ	1. 観光地、テーマパークなどの観光資源について理解できる	30			◎							
		2. ビジネスとしての観光資源の活用および観光業務の契約や約款について理解できる	40		○	◎							
		3. 海外・国内旅行およびインバウンド観光の特性を理解できる	30		○	◎							
食文化・フードビジネス	現代日本の食事文化の形成および現代のフードビジネスについての基礎知識を学ぶ。	1. 現代日本の食文化の形成について理解できる	30		○	◎							
		2. 食の流通について理解できる	30			◎							
		3. 現代のフードビジネスについて理解できる	40			◎							
食文化演習	世界の料理様式を理解し、和食および洋食の調理技術の基礎を学ぶ。	1. 食文化に基づく世界の料理様式を理解する。	40			○							
		2. その知識をもとに、料理をつくることができる。	40			○							
		3. 日常の食生活を健康で豊かに創造できる。	20			○							○
食空間コーディネート	人間の基本的欲求の一つである「食」をテーマに、より豊かな食を表現し味わう方法について学ぶ。	1. テーブルコーディネートの技術を身につけている	30		○	◎							
		2. コンセプトにそった、季節感のある表現について理解できる	40		○	◎							
		3. 女性の感性を用いた豊なテーブル表現を身につけている。	30			◎							○
食マーケティング論	食品産業の役割やフードシステムを学び、安全な食品を安定的に供給する食品流通の役割と食品が関わる環境問題を検討する。	1. 食産業の役割を理解できる	30		○	◎							
		2. 安全な食品を提供するフードシステムについて理解できる	40			◎							
		3. 食品と環境問題について理解できる	30		○	◎							
ブライダルビジネス	ブライダルの基礎知識をふまえ、マーケットの現状をビジネス的な視点で考察する。	1. ブライダルの基礎知識を理解できる	30			◎							
		2. ブライダルマーケットの仕組みおよび現状を理解できる	30			◎							
		3. 習得した基礎知識をもとに今後の婚礼の在り方を考察できる	40		○	◎							
ブライダル企画演習	婚礼企画とアイテム制作	1. ブライダルビジネスの現状を理解できる	30		○	◎							
		2. オリジナルの婚礼企画を提案できる	30			◎							
		3. ブライダルアイテムを制作できる	40			◎							○
ファッションビジネス	ファッション産業の特性と構造や、アパレル業界の専門職について理解し、アパレルマーケティングやブランディングについて学ぶ。	1. アパレル産業の特性と構造を理解できる	30			◎							
		2. アパレル業界の変遷と専門職について理解できる	40		○	◎							
		3. アパレル・マーケティングについて理解できる	30			◎							

学科目	科目の主題	科目の到達目標	配分 学習量（授業内外の学修活動の総和）全体を100としたときの配分	ディプロマポリシーの項目番号 凡例 ◎：DP達成のため設定された項目と強い関連性がある ○：DP達成のため設定された項目と相当程度の関連性がある 1つの達成目標に対して合わせて最大2個まで									
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
アパレル販売	アパレル製品の販売に必要となる、品揃えや計数管理など、基礎知識について習得する。	1. 商品の品揃えや計数管理を理解できる	30			◎							
		2. 顧客への接客技術や購買心理を理解できる	30		○	◎							
		3. 商品の素材、ディテール、ケア方法などの商品知識を理解できる	40		○	◎							
アパレルソーイング	原型およびパターン製図や衣服の構成方法を理解することで、アパレル製品の商品企画に必要な基礎知識を習得する。	1. スカートの製図方法や縫製技術を習得する	40			○							○
		2. ブラウスの製図方法や縫製技法を習得する	40			○							○
		3. 一般衣料の構造を理解する	20			○							
ブランドデザイン	各種ビジネス業界におけるブランドデザインについて具体的に学ぶ。	1. ブランドビジネスの特性を理解できる	30			◎							
		2. 各種業界のブランド商品の成り立ちを理解できる	30			◎							
		3. ブランドビジネスのマーケティングついて理解できる	40		○	◎							
インテリア計画	快適なインテリア空間を計画・提案するために必要な基礎知識を学ぶ。	1. インテリアの歴史の概略が理解できる	30			○							
		2. 空間寸法が理解できる	40			○							○
		3. 高齢者配慮が理解できる	30			○							○
住空間コーディネート	女性消費者の視点から、現代における快適で豊かな住まいについて知る。	1. インテリアエレメントの配置とゾーニングについて理解できる	30		○	◎							
		2. 生活行動による動線と空間計画について理解できる	30		○	◎							
		3. ライフスタイルに合った快適な生活空間について理解できる	40		○	◎							
インテリアビジネス	インテリアビジネスの特性について知り、住空間のインテリアを構成する家具、カーテン、壁装材、照明等のエレメントを、ライフスタイルのニーズから探る。	1. インテリアビジネスの特性について理解できる	40			◎							
		2. 住空間のインテリアエレメントの流通について理解できる	30			◎							
		3. ライフスタイルによる快適な住空間について理解できる	30		○	◎							
ショップデザイン	VMD（ビジュアル・マーチャン・ダイジング）の基礎知識を理解し、ショップでの演出や陳列の技術について学んだ上で、アパレル商品の商品企画および4シーズンの品揃え計画について学ぶ。	1. VMDによるショップの演出や陳列の理論を理解できる	30		○	◎							
		2. 各種業界のショップデザインの工夫について理解できる	30		○	◎							
		3. ショップのVMDを企画し商品の品揃え計画を説明できる	40			◎							○
地域公共政策	地域社会に影響を及ぼす公共政策の立案プロセスと評価方法を理解する	1. 公共政策が決定されるプロセスを理解する	40			◎		○					
		2. 公共政策の評価方法を理解する	30			◎		○					
		3. 公共政策が地域に与える影響を理解する	30			◎		○					
社会政策	社会政策の意義、制度、現代的課題を理解する。	1. 社会政策の意義と成り立ちを理解する	30	○				◎					
		2. 社会政策における現代的課題を理解する	40			○		◎					
		3. 社会政策に関する制度と法律を理解する	30			○		◎					
ソーシャルビジネス	社会問題の解決を事業にするソーシャルビジネス（社会的企業）の可能性と課題を理解する	1. ソーシャルビジネスが生まれ発展した背景を理解している	30			◎		○					
		2. 現在のソーシャルビジネスの動向を理解している	30			○		◎					
		3.「事業性」と「社会性」の両立を目指すビジネスアイデアを提案することができる	40			○		◎					
企業の社会的責任	企業の社会的責任について学び、長期にわたって企業が持続的に発展することができる経営戦略について考える	1. 企業の社会的責任について、環境・経済・社会の側面から理解している	40			◎		○					
		2. 企業と社会との持続可能な関係を、主なステークホルダーの立場から理解している	30			◎				○			
		3. 企業がCSR経営を実施し、評価を受ける際の基本的な方法を理解している	30			◎							○
現代社会のリスクとまちづくり	住民にとって住みよいまちのあり方について考え、そのまちづくりに必要となる知識や考え方などを身に付ける	1. まちづくりの基本的な知識が身についている	30		◎			○					
		2. 身近な地域のリスクとまちづくりについて、自らの意見を述べることができる	30					◎					○
		3. 自ら考えるリスク対策とまちづくりを具現化する方法を示すことができる	40					◎					○
多文化共生社会	文化に関する基礎理論を学び、多文化共生社会についての理解を深める	1. 文化とは何かを理解している	40		○								
		2. 多文化共生社会とは何か、また日本の現状を理解している	30		◎								
		3. 自らが多文化共生社会の形成にどのように貢献できるか考えることができる	30		◎								
社会とジェンダー	日常生活の様々な場面でどのようにジェンダーが構築されているか実践的に学ぶ	1. 文化と社会におけるジェンダーの構築について意識を高める	50	○				◎					
		2. ジェンダー問題の国際比較をし、諸外国の現状を理解するようになる	30	◎				○					
		3. ジェンダーに関する問題を発見、調査し、研究結果をプレゼンテーションに纏まることできるようになる	20	○				◎					
グループ・ダイナミックス	人が集団を構成した時、個人とは異なる集団ゆえに派生する力動によって行動するようになる。このように集団ゆえの力学的特性について学ぶ。	1. 組織や役割構造における集団圧力について理解する	40			◎						○	
		2. 世論や流行現象に見られる大衆社会現象について考察する	20		◎	○							
		3. 集団や群衆の中の人間行動について科学的に分析し、個人が如何にそれらに影響され、かつ影響を与えるのかについて考察する	40		◎	○							
地方自治	地方自治の仕組みと地方分権における課題を理解する	1. 地方自治に関する基礎知識を理解する	40			◎							
		2. 地方分権の基礎知識を理解する	30			◎							
		3. 地方自治の今日的課題を理解する	30			◎		○					
まちづくりデザイン	市民と行政などが協働して地域問題を解決するための方法を理解する	1. ソーシャルデザイン技法のプロセス（ステップ）を理解する	30			◎							
		2. 市民を巻き込むファシリテーション（聴く・尋ねる・促す）スキルを修得する	40			◎	○						
		3. 市民を巻き込むワークショップの運営方法を知る	30			○		◎					

学科目	科目の主題	科目の到達目標	配分 学習量（授業内外の学修活動の総和）全体を100としたときの配分	ディプロマポリシーの項目番号 凡例 ◎：DP達成のため設定された項目と強い関連性がある ○：DP達成のため設定された項目と相当程度の関連性がある 1つの達成目標に対して合わせて最大2個まで									
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
現代社会と福祉Ⅰ	福祉制度の意義・理念、福祉の原理をめぐる理論・哲学、福祉政策におけるニーズ・資源について理解する	1. 現代社会における福祉制度と福祉政策の関係を説明できる	40			◎		○					
		2. 福祉の原理をめぐる理論と哲学について説明できる	40		◎						○		
		3. 福祉制度の発達過程について説明できる	20			◎		○					
現代社会と福祉Ⅱ	福祉政策の構成要素、福祉政策と関連政策、福祉政策と相談援助活動、福祉政策の課題について理解する	1. 福祉政策におけるニーズと資源の関係を説明できる	40			◎		○					
		2. 福祉政策の構成要素について説明できる	40			◎		○					
		3. 福祉政策と相談援助活動の関係について説明できる	20			◎					○		
ビジネスマナー	社会人としての基本的な知識、判断や行動が出来るようにビジネス実務を学び演習を行う	1. 社会人に必要なビジネスマナーを身につける	50			○					○		
		2. 仕事のルール、チームでの働き方を身につける	25			○						○	
		3. 良好な人間関係を築くことができる	25			○						○	
ビジネス実務	実践的なビジネス実務能力が発揮できるような考え方や技術を身につける	1. さまざまな事例に対し、的確な状況対応ができる	30			○							○
		2. 社会人として、他者への配慮ができる	30							○		○	
		3. 職業人としての基礎的な情報収集・活用、企画立案、文書作成などの実務能力を身につける	30			○						○	
簿記・会計実務基礎	簿記の基礎となる個人商店を対象とした商業簿記を学習する	1. 企業活動におけるお金の流れを読むスキルが身についている	25			○					○		
		2. 企業活動における決算書を作成することができる	25			○					○		
		3. 日商簿記検定3級レベルの基本的な知識が身についている	50			○					○		
簿記・会計実務応用	財務諸表に関する知識を活用し、“企業の体力”や“社会の動き”を分析する能力を養う	1. キャッシュフロー計算書の構造と読み方を理解している	25			○					○		
		2. 財務諸表の基本的な分析を行うことができ、自社や取引先の経営内容を数字から把握できる	25			○					○		
		3. 日商簿記検定3級に合格できる程度の知識が身についている	50			○					○		
ファイナンシャル・プランニング入門	ファイナンシャル・プランニングの必要な知識である家計にかかわる住宅ローン、教育資金、年金制度、保険、税制など幅広い知識を学習する	1. ライフプランニングの知識が身についている	40			○					○		
		2. リスク管理の知識が身についている	30			○					○		
		3. タックスプランニングの知識が身についている	30			○					○		
ファイナンシャル・プランニング応用	ファイナンシャル・プランナーにとって必要な知識である家計にかかわる金融、不動産、相続など幅広い知識を学習する	1. 金融資運用の知識が身についている	40			○					○		
		2. 不動産の知識が身についている	30			○					○		
		3. 相続の知識が身についている	30			○					○		
ブライダル実務	ブライダルマーケットに関する知識を深め、ビジネスの視点で婚礼業務を実務レベルで理解する。	1. ブライダルマーケットの現状と今後の展望について理解できる	20		○	◎							
		2. 婚礼実務の知識を実務レベルで理解できる	20		○	◎							
		3. 接客に必要なマナーや接遇、求められる接客スキルについて理解できる	60		○	◎							
ABC検定特講	アシスタント・ブライダル・コーディネーター検定試験対策に特化して、合格に必要な基礎知識を理解した上で、対策問題を演習形式で取り組む。	1. ブライダルビジネスの基礎を理解した上で、神前式、、仏前式、キリスト教式、人前式などの婚礼に関する基礎的知識を理解し、演習問題を解くことができる	30		○	◎							
		2. コーディネーター業務や和・洋の披露宴についての実務的専門知識を理解し、演習問題を解くことができる	30		○	◎							
		3. 打合せ業務やコンセプトシートに基づいた各ブライダルアイテムの手配および当日業務についての演習問題を解くことができる	40		○	◎							
観光地理	観光分野の資格取得に向け、主要観光地の地勢、歴史、交通機関および 観光資源に関する基本知識を修得する	1. 主要観光地の地勢、歴史、交通機関に関する基本知識を修得している	40		○	◎							
		2. 主要観光地の観光資源に関する基本知識を修得している	50			◎							
		3. 観光分野主要資格試験（旅行業務取扱管理者など）に合格できる地理知識を修得している	10			◎							
国内旅行の取扱管理Ⅰ	国家資格である国内旅行業務取扱管理者の資格取得に向け、必要な基礎知識を修得する	1. 国内旅行業務取扱管理者の資格の意義を理解できる	30		○	◎							
		2. 旅行業法、旅行業約款など各種約款、運賃料金計算に関する基礎知識を理解できる	30		○	◎							
		3. 国内観光地理、観光地などに関する基礎知識を理解できる	40		○	◎							
国内旅行の取扱管理Ⅱ	国内旅行業務取扱管理者の試験に合格できる約款や観光業に関する専門的知識を学ぶ。	1. 旅行業法、旅行業約款など各種約款、運賃料金計算に関し、試験合格レベルの知識を理解できる	30		○	◎							
		2. 国内観光地理などに関し、試験に対応できる専門知識を身につけている	30		○	◎							
		3. 国内旅行の宿泊、運賃計算などに関し、試験に対応できる知識を身につけている	40		○	◎							
総合旅行取扱管理	総合旅行業務取扱管理者の試験（例年10月実施）に合格できる知識ならびに取り組み方を修得する	1. 旅行業法、旅行業約款など各種約款、運賃料金計算に関し、試験合格レベルの知識を理解できる	30		○	◎							
		2. 海外観光地理、出入国管理法令、などに関し、試験合格レベルの知識を理解できる	30		○	◎							
		3. 海外旅行の宿泊、運賃計算などに関し、試験に対応できる知識を身につけている	40		○	◎							
観光英語Ⅰ	観光英語検定3級で必要な日常英会話をマスター観光英語検定3級の合格を目指す	旅先で必要な英語表現や各地の観光名所や文化などを把握する	50		○		◎						
		2. 旅行先で遭遇する様々な場面で必要な語句や熟語を丁寧に解説・網羅できるようになる	30				◎						
		3. 観光英語検定3級のリスニング・テストに効果的な練習法を取り入、合格できるようになる	20	○			◎						

学科目	科目の主題	科目の到達目標	配分 学習量（授業内外の学修活動の総和）全体を100としたときの配分	ディプロマポリシーの項目番号 凡例 ◎：DP達成のため設定された項目と強い関連性がある ○：DP達成のため設定された項目と相当程度の関連性がある 1つの達成目標に対して合わせて最大2個まで									
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
観光英語Ⅱ	観光英語検定2級合格を目指す	1．旅先で必要な英語表現や各地の観光名所や文化などを詳しい知識を身につける	50		○		◎						
		2．発展レベルで旅行先で遭遇する様々な場面で必要な語句や熟語を解説・網羅できるようになる	30				◎						
		3．観光英語検定2級のリスニング・テストに効果的な練習法を取り入、合格できるようになる	20	○			◎						
社会と統計	国勢調査、学術調査、世論調査などの様々な実際の調査データを用いて、社会調査の基本的事項と意義について学ぶ。また、社会調査の歴史や実際に調査を行う際に注意すべき点についても学び、社会と統計との関わりについて理解を深める	1．社会調査の計画・実施方法を理解する	30			○	◎						
		2．社会調査の調査票を作成できるようになる	30			○	◎						
		3．社会調査データの集計や簡単な統計分析ができる	40				◎	○					
データ解析入門	統計ソフトSPSSによる基本的な社会科学的データの分析	1．記述統計量の算出やグラフ作成を行い、分析結果を簡潔にレポートすることができる	20				◎						
		2．推測統計 の基本的な考え方を説明することができる	40				◎						
		3．t検定、相関分析、カイ二乗検定を行い、分析結果を簡潔にレポートすることができる	40				◎						
データ解析応用	統計ソフトSPSSを用いて多変量解析の基礎を学ぶ	1．サンプルデータに対して因子分析を適切に行うことができる	40				◎	○					
		2．サンプルデータに対して重回帰分析を適切に行うことができる	30				◎	○					
		3．サンプルデータに対してクラスター分析を適切に行うことができる	30				◎	○					
社会調査法	社会調査が何のために何故行われるか，その特徴は何か，どのような方法があるのかなどを学び、社会調査についての基本を理解する。その上で、具体的な調査の方法を学び、社会調査を実施する上で最低限必要な一通りの知識と技術を修得する	1．様々な統計データを読み解くリテラシーを修得する	30				◎	○					
		2．社会調査による情報収集の基本的知識を修得する	30				◎	○					
		3．社会調査によって収集された情報の分析に関する基本的知識を修得する	40				◎	○					
社会調査実習Ⅰ	グループ実習を通して初歩的な調査技術を習得することを目的とする。授業全体の調査テーマを設定し、グループに分かれて、各グループの調査テーマを設定する。グループ内で調査目的・仮説を明瞭化する。グループごとに調査票を作成し、調査対象を決定する。	1．社会調査の基本的知識を習得できる	40			◎	○						
		2．社会調査を企画できる	30					◎				○	
		3．調査票を作成できる	30					◎				○	
社会調査実習Ⅱ	社会調査実習Ⅰで企画した調査を、グループ単位で実施し、調査して得られたデータの分析を行い、分析結果に基づいて報告書を作成する。グループごとに発表し、討論の後、各グループの分析結果に基づいて、調査全体としての結論を導く	1．社会調査の基本的技術を習得できる	40			◎						○	
		2．社会調査を実施できる	30				◎					○	
		3．調査データを分析できる	30				○	◎					
メディカルクラークⅠ	医療事務技能審査（メディカルクラーク）の資格取得を目標とする	1．医療保険制度の基礎知識を理解できる	40			○					◎		
		2．診療報酬の基礎知識を理解し、点数計算ができる	30			○					◎		
		3．診療報酬明細書の記載要領を理解できる	30			○					◎		
メディカルクラークⅡ	医療事務技能審査（メディカルクラーク）の資格取得を目標とする	1．医療機関において患者接遇・受付の基礎ができる	40							○	◎		
		2．診療報酬の基礎知識を理解し、点数計算ができる	30				○				◎		
		3．診療報酬明細書の記載要領を理解できる	30				○				◎		
メディカルクラーク応用	医療事務技能審査（メディカルクラーク）の資格取得を目標とする	1．カルテを正しく読むことができる	30				○				◎		
		2．診療報酬明細書の誤りを発見できる	30				○				◎		
		3．医療事務技能審査に向け、時間内に解答できる	40				○				◎		
ドクターズクラークⅠ	医師事務作業補助技能認定試験＝ドクターズクラークの資格取得を目標とする	1．医療保険制度・医療関連法規を理解できる	30			○					◎		
		2．医学一般・薬学一般を身につける	20		○						◎		
		3．各種医療文書を作成できる	50				○				◎		
ドクターズクラークⅡ	医師事務作業補助技能認定試験＝ドクターズクラークの資格取得を目標とする	1．医療保険制度・医療関連法規を理解できる	30			○					◎		
		2．医学一般・薬学一般を身につける	20		○						◎		
		3．ヒューマンスキル・ビジネススキルを身につける	50				○				◎		
ケアクラーク	ケアクラーク技能認定試験＝ケアクラークの資格取得を目標とする	1．介護保険制度の基礎知識を理解できる	40			○					◎		
		2．介護報酬を理解し介護給付費の算定ができる	30				○				◎		
		3．介護給付費明細書の記載要領を理解できる	30				○				◎		

学科目	科目の主題	科目の到達目標	配分 学習量（授業内外の学修活動の総和）全体を100としたときの配分	ディプロマポリシーの項目番号 凡例　◎：DP達成のため設定された項目と強い関連性がある ○：DP達成のため設定された項目と相当程度の関連性がある 1つの達成目標に対して合わせて最大2個まで									
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
調剤報酬請求事務	調剤報酬算定の技能を身につける	1．医療保険制度を理解できる	30			○					◎		
		2．調剤報酬明細書の作成、点検ができる	50				○				◎		
		3．患者接遇と受付実務を身につける	20				○				◎		
公務員特別演習基礎	公務員試験の合格を目指すための，社会科学に関する基本的な知識を身につける	政治・法律の基礎的な知識を身につける	50		◎	○							
		経済の基礎的な知識を身につける	25		◎	○							
		社会の基礎的な知識を身につける	25		◎								
公務員特別演習応用	公務員試験の合格を目指すための，人文科学に関する基本的な知識を身につける	日本史・世界史の基礎的な知識を身につける	50		◎								
		地理の基礎的な知識を身につける	25		◎								
		思想の基礎的な知識を身につける	25		◎								
公務員特別演習発展	公務員試験の合格を目指すための，自然科学に関する基本的な知識を身につける	数学・物理の基礎的な知識を身につける	40		◎								
		生物、地学の基礎的な知識を身につける	40		◎								
		化学の基礎的な知識を身につける	20		◎								